



ミラーズ
4チューバート
美郷中

船風岡16号のせりせり校カブトムシ！
インターネット部

詳細は4ページ

みさく

議会だより



議会トップページへ

発行：秋田県美郷町議会
編集：議会広報常任委員会

2ページ

「議会を語る会」を初開催

9ページ

議会傍聴者の声

12ページ

総務産業委、鳥獣被害調査



クマ対策の電気柵を確認



初めての

「美郷町議会を語る会」を開催

議会基本条例の解説に町民参集



令和6年11月21日に「令和6年度美郷町議会を語る会―議会基本条例の解説―」を中央ふれあい館で開催しました。同年7月1日から施行されている美郷町議会基本条例について、町民への周知を図り、議会の役割や議員の使命などの理解を得るとともに、議員のなり手不足解消を目指した初めての試みです。

参集の町民22人に、議会活性化の取り組み、議会基本条例、議会のデジタル化、選挙公営等について、概要資料と逐条解説で説明を行いました。その後の質疑や意見に対し、議員8人が応答した結果を全議員で共有し、今後の議会・議員活動につなげてまいります。

議員の定数と報酬

町民 議会費の総額はそのままにして、議員の定数を増やしてはどうか。議員個人の報酬は減ることになるが、人数の多い方が多様な意見は出やすいと思う。

議員 議員の定数と報酬は、基本的には別々のものと考えている。議員のなり手不足は、報酬の低さが理由の一つと言われている。定数は14人にするか決定したので、増やすことは難しい。

広報活動

町民 議員個人がSNSを使う際の注意事項などについて、何か話し合ったことはあるか。

議員 議会としての具体的な取り決めはない。SNSの影響力は大きいので、状況を見ながら検討していく。

町民 議会のホームページに、議員の氏名だけでなく、もう少し親しみのわく情報も掲載してはどうか。

議員 議会のホームページのあり方を、議会広報常任委員会で検討していく。議会全体と議員個人との活動を分けて考えなくてはいけないが、活動が見えるように情報発信していきたい。



年頭のあいさつ

美郷町議会議長

森 元 淑 雄

明けましておめでとうございます。

昨年の元日は、能登半島地震という正に突発的な出来事からの幕開けとなりましたが、今年は何事もなく穏やかな一年であってほしいと願うものです。

さて、議会では念願でありました議会基本条例の制定や、次期改選からの議員定数削減など、議会改革を断行してまいりました。加えて、地域社会のデジタル化を踏まえ、本会議の録画配信に向けた取り組みも検討しているところであります。

私自身、「反省は悔やみではなく、前進するための土台である」と常々思っております。その意味からも、議員一人ひとりの力を合わせ、今後も「チーム美郷町議会」として、更なる改革に取り組んでいく所存であります。

何卒、本年も宜しくお願い申し上げます。

連載2

美郷町議会基本条例の概略(あらまし)

前号に引き続き、議会基本条例の条文等の理解を深めるため、説明を行います。
(第2回は第5条～第9条)

【第5条】 広報の充実

○広報紙や多様な情報媒体を有効に活用し、議会の活動状況を町民に分かりやすく、速やかに伝えるとともに、積極的な情報発信に努めます。

※広報活動⇒広報紙「みさと議会だより」発行、町公式ホームページ・LINE・Facebook・X掲載、FMラジオ放送

【第6条】 広聴の充実

○議会への町民参加の推進に努めるとともに、町民との意見交換の場を多様に設けます。

◆女性や若者などの参加を推進し、町民の多様な意見を把握することにより、町政に反映させます。



町社会福祉協議会との意見交換会

【第7条】 議長・副議長の選出

○議長・副議長の職を志願する者に所信表明する機会を設け、選出過程を町民に明らかにします。

【第8条】 政策等の立案・提言

○政策等の立案機能の強化に努めるとともに、政策等を立案し、町長等に対し提言します。

【第9条】 委員会の活動原則

○常任委員会・議会運営委員会・特別委員会は、調査研究活動を充実強化し、政策等の立案を積極的に行います。

※3 常任委員会⇒総務産業、教育民生、議会広報

12月定例会

12月3日から10日間の日程で12月定例会を開きました。補正予算7件、条例改正など9件、人事2件、発議5件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

ふるさと美郷応援寄付金増額

令和6年度補正予算

会計名	補正総額	補正後累計
一般会計	2億785万円	132億9618万円
国民健康保険特別会計	436万円	21億8950万円
後期高齢者医療特別会計	△883万円	2億4720万円
水道事業会計	収益的収入	72万円
	収益的支出	189万円
	資本的収入	550万円
	資本的支出	550万円
		3億9236万円

¥ 一般会計補正予算(主な事業)

・ふるさと美郷応援寄付金

ふるさと納税増額に係る関連経費
(808万円増額)

・子ども子育て支援拠点施設の

駐車場工事

資材高騰と、敷地内のアスベスト除去を行うための工事費(3269万円増額)

問 当初計画から大きく増額となった理由は。

答 当初、地表面に重ねて施工するオーバーレイを予定していたが、既存面の使用建材を分析したところ、アスベストが検出されたため、その除去や資材高騰により増加した。

・旧カントリーパーク

法面復旧工事

大雨により崩壊した法面の復旧工事費
(657万円)



旧カントリーパーク法面崩壊

・県後期高齢者医療広域連合

療養給付費負担金(2380万円増額)

・大曲仙北広域市町村圏組合負担金

新中央し尿処理センター建設事業
(1186万円増額)

・ごみ減量リサイクル対策

家庭ごみの分け方・出し方のチラシ、ごみ集積所のごみの出し方プレートの作成

・手づくり工房湧子ちゃんの保冷室冷却ユニットの更新と電動シャッターの交換

・子宮頸がん予防接種事業

キャッチアップ接種(8ページ参照)に補助(350人分 1015万円)

人事

【美郷町監査委員】

次の方の選任に同意しました。(再任)

■ 高橋 信雄氏(遠規)

【美郷町教育委員会委員】

次の方の選任に同意しました。(再任)

■ 坂本 由美子氏(上町)



条例（主なもの）

- ・美郷町雁の里山本公園設置条例の一部改正
- 利用時間と料金の一部変更

問 車椅子を利用している方への対応は。

答 テントの設営など難儀する場合は、管理人が協力対応する。



陳情

採択

（関係機関に意見書を提出）

- 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善について国に意見書提出を求める陳情
- 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情
- 「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書

- 「小・中学校給食費の無償化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情

- 「18歳までの医療費窓口負担の無料化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情

不採択

- 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情

反対討論

（泉美和子議員）

国民皆保険の根幹を揺るがすものであり、採択すべきだ。

- 臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

- 国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出についての陳情

- 地方自治を無視する国に沖縄との対話を求める意見書の提出に関する陳情

採決結果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果		
議員名	熊谷隆一	村田薫	鈴木正洋	藤原政春	高山茂雄	高橋邦武	深澤均	伊藤福章	高橋正和	泉美和子	深沢義一	熊谷良夫	澁谷俊二	長谷川幸子	鈴木良勝	森元淑雄			
◎令和6年第9回議会定例会（12/12）																		○：賛成　●：反対	
陳情第39号　健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情																			
	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●		不採択		
陳情第44号　国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書提出の陳情																			
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●		不採択		

一般質問

12月11日の本会議では、4人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

質問者

いずみ みわこ 議員
泉 美和子

◇暮らし応援の物価高騰対策を

◇国保税の負担軽減を

たか はし くに たけ 議員
高橋 邦武

◇つながりが生まれる交流の創出・拡大について

すず き まさ ひろ 議員
鈴木 正洋

◇自治会の活動力向上について

◇六郷高校への支援策について

は せ がわ ゆき こ 議員
長谷川幸子

◇女性のがんの対策について

一般質問とは？

年4回の議会定例会で行われる、議員主導の行財政全般にわたる政策論議です。

推奨事業
メニューに
新たに追加
された灯油
支援は、ぜ
ひ実施を。



灯油代も高騰

議員 物価高が続き、町民の暮らしは困難さを増している。暮らしを支える物価高騰対策が早急に求められている。
政府の新たな経済対策で、重点支援地方交付金の追加が示され、自治体に対し、支援の具体化を急ぐよう要請している。町ではどう検討しているのか。

答 事業検討に着手している

問 物価高騰対策の実施を



いずみ みわこ 議員
泉 美和子

議員 加入世帯にとって重い負担となっている国民健康保険税を、あらゆる財政措置で引き下げるべきでないか。
子育て世帯の負担軽減のため、子供の均等割の減免を18歳まで拡大すべきでないか。
町長 保険税率については、被保険者数の減少や保険者の所得状況、医療費の増嵩などにより繰越額が減少傾向にある中、慎重に判断していきたい。
子供の均等割軽減は、国の施策として统一的に実施されるべきと考えている。様々な機会をとらえ、引き続き国へ働きかけていく。

国民健康保険税の軽減を

町長 国の補正予算成立後早期に予算編成すべく、推奨事業メニューを参考に検討に着手している。しかし、交付金の額が明示されていないので、現時点で具体内容は示すことができない。
灯油支援については、県の対応方針なども情報収集しながら、今後の対応を決めていく。



高橋 邦武 議員

問 町民参加型の 交流事業の実施を

答 新たな企画内容は今後調整

議員 「交流人口」や継続的に地域に貢献する「関係人口」を創出し、拡大するため、企業・大学・自治体・金融機関に加え、町民参加型の交流事業を実施することが必要ではないか。

町長 町民参加型の交流は、日本航空株式会社と展開しており、町民約1140人が参加している。

新たな企画内容は、今後の調整となるが、都市農村交流を下地に、農作業体験を通じて交流を図るほか、大学生や町内企業社員も参画し、幅を広げること、新たな人の流れの創出に繋げていく。

連携企業交流を産業振興に

議員 民間企業との連携による交流は、町外から評価されている特長ポイントの一つである。今後、連携企業交流をどのように深化させ、町の産業振興に結びつけていくのか。

町長 薬用植物の栽培作目を増やし、栽培の農家や面積の拡大により、企業との交流結果を産業振興に繋げていく。

美郷雪華は、栽培の農家や面積を増やす方向で取り組んでおり、企業と連携し、産業や観光の振興に繋げていく。

今後、研修会を開催し、取り組み農家を拡大していくことで、活用用途の拡大や栽培作目の増加により、産業振興に役立てる。



美郷フェスタの交流コーナー

【他の質問「都市農村交流の推進」「国際教育・交流の推進」

「芸術文化交流の促進」】



鈴木 正洋 議員

問 地域組織の活動支援 の考え方は

答 転入者と地域への情報提供を検討

議員 町内会・自治会など地域組織への加入を推進する条例を制定し、活動の支援に力を入れる自治体が増えている。当町の考え方は。

町長 転入届出の際、関係者同士の合意が得られれば、役場窓口で地域組織の情報をお知らせし、地域組織にも転入者の情報をお知らせすることを検討したい。活動を支援する補助金は、今後も継続する。各種相談には「地域コミュニティサポート窓口」を活用してほしい。

行政区の再編成を

議員 現在、行政区は「118」

ある。世帯数が極少なら統合、地域組織への加入実態を踏まえた境界調整など、再編成が必要では。

六郷高に給食を

議員 羽後高校のように、六郷高校も給食を提供してはどうか。



六郷高校

教育長 現段階では考えていない。

六郷高の町立化の調査研究を

議員 北海道には町立の高校も珍しくなく、道から町への移管を機に、生徒が増加した高校もある。

六郷高校を町立化することの調査研究に取り組んではどうか。

教育長 調査研究を含め、町立化する考えはないが、全国の事例には注目していきたい。

【他の質問「六郷高校の『地域みらい留学』への取り組み」(仮称)六郷高校魅力化支援員の配置】



はせがわ ゆき 議員
長谷川 幸子

問

無痛MRI
乳がん検診の導入を

答

検査の有用性の情報収集を行う

議員

痛みを伴わない、がん発見率の高い無痛MRI乳がん検診を導入すべきではないか。

町長

精密検査などでMRI検査が有効であるという研究報告もある一方、死亡率減少効果は現状では明らかでないという見解を示す資料もある。検査の有用性を専門家に伺うなど情報収集に努めるとともに、国の指針や近隣自治体の動向も見

町長 精密検査などでMRI検査が有効であるという研究報告もある一方、死亡率減少効果は現状では明らかでないという見解を示す資料もある。検査の有用性を専門家に伺うなど情報収集に努めるとともに、国の指針や近隣自治体の動向も見



MRI 乳がん検診機

据えながら、今後の乳がん検診のありようを検討していく。

キャッチアップ接種

延長の周知を

議員

子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種について、令和6年度末までに1回以上接種した方を対象に、接種期間を最大1年間延長する経過措置が決まった。速やかな情報提供を行うべきではないか。

町長

今後のスケジュールや周知・広報等については、国から示される内容に従い、適切な対応を図っていく。

なお、町のキャッチアップ接種の10月末時点の状況は、対象者が556人のうち、接種途中の方が131人、未接種の方は218人。

キャッチアップ接種

平成9年4月2日から平成20年4月1日生まれの女性で、子宮頸がんワクチン接種を3回受けていない方は、公費で接種を受けられる。

臨時会（令和6年11月11日）

議案2件を審議し、全員賛成で可決しました。

○工事請負契約の変更

仙南小学校改修工事を精査した結果、1億9800万円から2億724万8800円に変更。

問

壁の亀裂などは、最初の入札段階で分からなかったのか。また、学校施設環境改善交付金の対象となるか。

答

令和4年度の調査以上に、外壁面等の劣化が進んでいた。交付金は工種が違い対象にならないため、合併特例債を充当している。

臨時会（令和6年12月25日）

議案1件を審議し、全員賛成で可決しました。一般会計に696万1千2百円を追加し、総額1億6579万7千円となりました。

○エネルギー・食料品等価格高騰支援給付金と生活支援券

住民税非課税世帯を対象に「エネルギー・食料品等価格高騰支援給付金」として3万円を給付、18歳以下の子どもには1人当たり2万円を加算する。それ以外の世帯には「生活支援券」として7千円（予定）を給付する。

問

事業内容は国から示されたものか。住民税均等割のみの世帯にも、給付金を出すべきではないか。

答

国が金額等を定めた事業と、推奨メニューとして示した事業とがある。実施を検討している他事業との関連もあり、この内容とした。

○手作り工房湧子ちゃんのサイダー製造設備の更新

臨時会（令和7年1月17日）

議案1件を審議し、全員賛成で可決しました。一般会計に672万1千8百円を追加し、総額1億3301万5千円となりました。

○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業

住民税所得割が課されていない世帯に「灯油購入費緊急助成事業」として6千円を給付する。施設園芸や酪農、畜産、運送、社会福祉施設等の各事業者に補助金を支給する。

○ふるさと納税の関連経費を増額

問

ふるさと納税の基金を、条例で定めている事業以外にも活用していく考えは。

答

子育て支援と教育の充実に関する事業に活用していく。

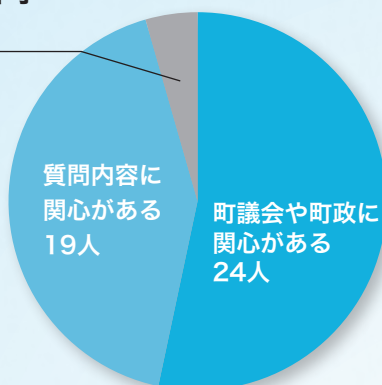
議会傍聴アンケートの結果をお知らせします

令和6年の傍聴者は63人、
アンケート回答者は34人。

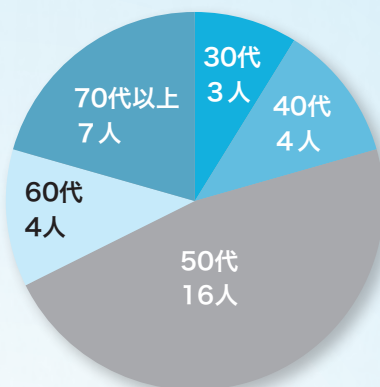
傍聴の目的・理由は何ですか

※複数回答可

その他
2人



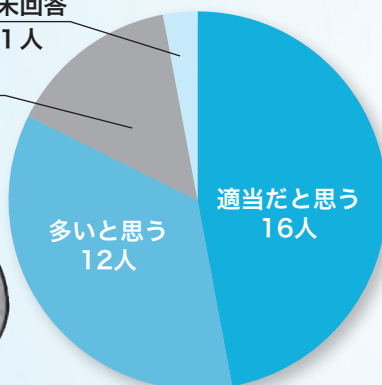
傍聴者（年代別）



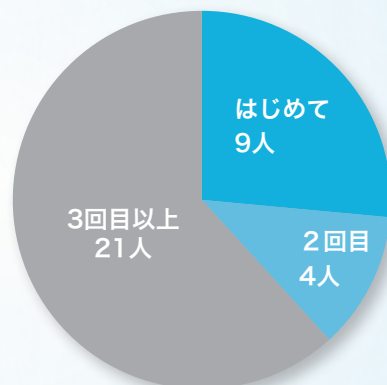
議員定数をどう思いますか

未回答
1人

わからない
5人



議会の傍聴は何回目ですか



傍聴された方の声

議員が町民の心配事、懸念について質問されていることが確認でき、代表者としての意識の高さと責任を果たしていることを実感できた。

また、町長が質問に対して的確に事例や検討事項を交えながら答弁していることについても、丁寧な回答で議員に対する配慮を感じた。

ただし、町の施策に対する答弁であるはずのところで、国・県の政策にならっての回答が多く、町独自、長としての意見、回答が少なかったように思われた。(6/11)

各議員の質問に対し、誠実で丁寧な回答をした町長・教育長の対応が品格の有る説明であったことに、議会の質の高さを感じた。(9/12)

町長・議員・行政の発言が町民の生活等に向けたものであることに、一人の住民として、うれしさ、ありがたみを感じた。(9/12)

議員の質問は、よく町民の意を汲んで代弁してくださっていると思う。継続しての議員の奮闘を願います。(12/11)

自治会組織への行政の助言・支援は、行政の主体的姿勢を期待したいのですが。(12/11)

質問している議員がいつも同じ方であるため、雑談などをしている議員の方も一般質問したら良いと思った。(6/11)

若い人達に町政に対して関心を持ってもらえる取組みが必要（山形県遊佐町のこども議会など）(12/11)

役場の仕事を、調べ隊！
所管事務調査

総務産業常任委員会

令和6年10月31日

◎有害鳥獣の被害防止対策は 《農政課》

冬眠前のクマが人里へ出没すると懸念されるので調査を実施した。

説 明

●有害鳥獣の件数と対応の実績 ※令和6年9月現在

年 度		令和6年度	令和5年度
ツキノワグマ	被害農業件数	1件	22件
	捕獲数	2頭	79頭
イノシシ	被害農業件数	1件	0件
	捕獲数	15頭	4頭
ニホンジカ	被害農業件数	0件	1件
	捕獲数	11頭	10頭

●防止対策の取り組み

【出没対応】

防災行政無線、防災メール、町公式LINE、クマダスでの注意喚起のほか、警察への情報提供と目撃箇所でのパトロールを実施している。

【被害防止対策】

有害鳥獣誘引樹木伐採事業の創設や、電気柵の導入補助を行っている。

町への意見

○出没対応について、関係機関への連絡と町民への注意喚起を迅速かつ適切に進めてほしい。

○被害防止対策について、緩衝帯整備と誘引樹木伐採、電気柵設置を含めて効果のある事業を実施してほしい。

◎税申告相談の事前予約制の対応は 《税務課》

令和6年2月の税申告相談から事前予約制を実施しており、今後の対応について調査を実施した。

説 明

●事前予約システム

申告相談の希望日時をネットやLINE、電話で予約する。

予約方法	件数	割合
電話予約	1,614	50.0%
ネット予約	835	25.9%
LINE予約	780	24.1%
計	3,229	100.0%

●電子申告の利用促進

町ホームページやSNS等での発信、申告に関する通知への同封等により利用促進を図っていく。

町への意見

○ネットやLINEの予約件数を増やすことが必要だが、それらに慣れていない人にも配慮してほしい。

○電子申告は、広報掲載やSNSでの発信等、工夫をして、相談の期間を十分に確保してほしい。

◎水害の状況と対応は 《住民生活課・建設課・農政課》

令和6年7月と9月に水害による被害があったため、その状況と対応について調査を実施した。

説 明

●大雨による被害

警戒部設置	家屋床下浸水	農地冠水被害	農地被害額
7月9日	2棟	10.3ha	375万1千円
7月24日	3棟	26.8ha	612万1千円
9月20日		2.6ha	9万2千円

●対応状況

・家屋床下浸水への見舞金1世帯2万円

・被災農業者等への再生産に向けた取り組みに対して助成し、再建を支援

町への意見

○関係機関と連携協議して、浸水の被害が最小限にとどまるように対応してほしい。

○県に対して、河川の浚渫を要望してほしい。



◎母子手帳アプリの利用状況は 《こども子育て課》

妊娠から出産・子育てまで切れ目のないサービスを提供するため、母子手帳アプリ「はぐhug（はぐ）みさと」を令和5年度から導入している。その実態について調査を実施した。

説明

- 母子共に予防接種・定期健診のスケジュール管理、町からの子育て情報の受け取りや成長にあわせて記念日登録などができるほか、家族間でも登録した子供の成長や思い出を共有できる。
- 利用実績は増加傾向にあり、令和6年10月1日現在113人。親世代だけでなく祖父母世代の利用もある。

町への意見

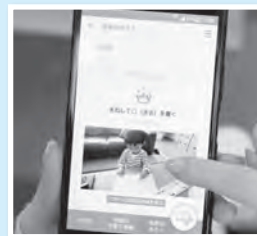
○支援体制等を充実させ、周知や広報活動にも力を入れて、利用者を増やしてほしい。

まちの声

戸澤 芙未子さん 咲子ちゃん 晴彦くん （宝門町）



一番使うのは予防接種の管理です。きょうだいで一括管理できるのがとても助かります。インフルエンザなど、季節の予防接種時期になると通知が来てくれるので、忘れることはありません。また、パパと情報を共有できるのも嬉しい点です。これからは健診日など、もっと美郷町の情報を通知してほしいです。



◎ふれあい安心電話の普及状況は 《福祉保健課》

65歳以上の独居世帯、高齢者世帯、身体障害者のみの世帯には、急病や災害等に対応するため、「ふれあい安心電話」を貸与している。その実態について調査を実施した。

説明

- ふれあい安心電話の耐用年数到来に伴って令和6年度にシステムを見直した。事業委託している町社会福祉協議会が、警備保障会社との契約により運営している。
- 緊急通報があった場合、警備保障会社のガードマンが10～20分で駆け付ける。

町への意見

○これまでと違う機動的なサービスなので、普及啓蒙に力を入れてほしい。



設置する機材

◎高齢者世帯への支援体制は 《福祉保健課》

高齢者世帯が増加していることから、支援体制について調査を実施した。

説明

- 実態把握調査事業として、75歳以上のみの世帯を訪問し、利用できる支援制度の紹介や手続きのお手伝いを、必要に応じて行っている。
- 事業としては、「配食サービス事業」「ふれあい安心電話事業」「軽度生活援助事業・雪下ろし等支援事業」「生きがい活動支援通所事業」「シニア元気いきいき支援事業」「介護者手当支給事業・介護用品給付事業」がある。

町への意見

○高齢者の介護予防への取り組みとそのための人材確保に努めてほしい。

○物価高騰に対応した各事業の予算確保をしてほしい。



七ヶ宿町(宮城県)

移住定住

手厚い経済支援で人口減少にブレーキ

宮城県で一番人口の少ない町で、平成27年から町として特に移住定住施策に力を入れ始めました。移住定住支援センター「七ヶ宿くらし研究所」が総合窓口となって土・日も休まずに対応、オンライン相談などの環境も整っています。

住まいに対する特徴的な施策は、新築した町営住宅に20年間入居すれば住宅と土地が無償譲渡される(移住者に限る)ことや、新築住宅・二世帯住宅改修への助成金1/2補助(上限300万円、町民移住者両方対象)など、手厚い経済支援を行っています。

平成28年度から令和5年度まで8年間の新規移住者は239人です。人口は令和4年度末の1,233人から令和5年度末の1,223人と、減少幅が小さくなってきています。

(総務産業常任委員会視察研修・令和6年11月12日)

七ヶ宿くらし研究所



飯豊町(山形県)

空き家対策

空き家対策にも有効「エンディングノート」

人口約6,600人、世帯数2,100戸の町に空き家が280戸あり、その内の1/4が既に倒壊もしくは倒壊の危険性がある家屋です。

空き家対策としては、解体工事費の1/2補助(上限100万円)や、地域コミュニティでの利用、地域拠点づくり事業の補助(上限200万円)などを行っています。

また、「空き家にしない対策」にも取り組んでおり、民生児童委員とケアマネージャーの協力などにより、「エンディングノート」を用いた、住んでいるときから住まいの今後を考えてもらう活動を進めています。空き家の所有者と連絡が取れないなどの問題に苦慮する中、有効な対策になるのではと思いました。

加えて、人口減少問題、移住定住施策、空き家等利用促進事業を「地域整備課住宅政策室」に一本化して総合的に取り組んでおり、注目すべきことでした。(総務産業常任委員会視察研修・令和6年11月13日)

役場担当課と意見交換



仙北市(秋田県)

地域医療

移動診療車で離れた場所から診察

西明寺診療所には移動診療車「せんぼく医信電診丸」があります。山手線の4倍の広さのある区域を、診療所の市川晋一先生は一人でカバーしています。移動診療車があるおかげで、現地まで出向かず診察ができます。

移動診療車には、心電計やAEDなどの医療機器と、大型モニターやカメラなどのIT機器が装備されています。運転士と看護師2人が乗車して、診察を受ける高齢者が暮らす家の前まで出かけて行きます。市川先生は診療所にいながらモニター越しに診察。「リアルタイムに先生から声が聴けて元気が出る」と好評です。

「移動診療車は現行の報酬制度では負担が大きく、単独での黒字化は難しいものの、持続可能な医療提供体制の構築を目指す観点から有効」と説明を受けました。

(大仙市・仙北市・美郷町議会議員交流会・令和6年10月11日)

車内にはベッドとハイテク機器





議会活性化

黒部市(富山県)

高校生とのワークショップで要望を吸い上げ

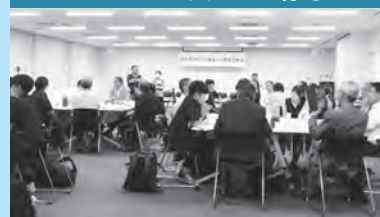
議員定数は17人です。議会の広聴活動として、議会報告会を毎年続けてきたほか、令和5年度は自治組織との意見交換会も行いました。

「桜井高校生と市議会との意見交換会」は、令和6年度に初めて開催しました。参加した高校生は18人。議員も一緒に4グループに分かれて、ワークショップ形式で意見を出し合いました。テーマは「黒部市にあったらいいもの」「交流センターを利用して感じること」。市外から通学してくる生徒の意見も聞いたことで、見えていなかった課題が浮かび上がりました。出た意見は報告書にまとめて、市長へ提出しました。

議会基本条例は平成27年の制定、内容の検証を過去に2回行っています。会議のネット中継など、デジタル化も進んでいました。タブレット端末については、庁舎外への持ち出しを不可としています。

(議会運営委員会視察研修・令和6年10月16日)

ワークショップの様子



議会活性化

湯沢町(新潟県)

子育て世代との意見交換会が好評

議員定数は12人、そのうち4人が女性です。女性議員の多いことが、議会の活性化につながっているように感じました。

総務文教常任委員会が「子育て世代と意見交換会」を企画したところ、チラシの配布やLINEによる拡散などで、予想を上回る15人が参加し、「またやってほしい」という声も多く寄せられました。意見交換会の開催にあたっては、対象者層を絞ることや、告知方法を工夫することが大切だと理解しました。

議会基本条例は、2年ごとに内容を検証しています。会議は、ネットのほか地元のFMラジオでも放送されています。タブレット端末の運用開始から半年を経て、ペーパーレスに完全移行となります。

(議会運営委員会視察研修・令和6年10月17日)

湯沢町議と意見交換



地域おこし

東成瀬村(秋田県)

地域おこし協力隊のITベンチャーに期待

第3セクター企業の「東成瀬テックソリューションズ(株)」(なるテック)は、社員の63人全員が「地域おこし協力隊」として村に移住した人たちです。ITベンチャー企業として、新事業の創出に取り組んでいます。

地域おこし協力隊は、地域課題の解決に取り組む人材を、国が3年間の報酬付きで派遣する制度です。協力隊を雇用すれば、会社の人件費負担は少なく済みます。その間に事業を育てて売り上げを伸ばしていくことが、経営者には求められます。

研修で社員がスキルの向上を目指して学びあう姿からは、何かを生み出すかもしれないという期待を感じました。協力隊の任期が過ぎても、なるテックは社員として雇用してくれます。「秋田県は地域おこし協力隊の任期後定住率が全国最下位」という不名誉な現実を跳ね返してほしいと思いました。

(議員視察研修・令和6年10月1日)

なるテックの研修を見学





シリーズ
ムチュudent
美郷中
Vol.21

インターアクト部

部員同士の仲のよさは
学校ナンバーワン!

私 たちインターアクト部は、1、2年生合わせて10人で活動しています。私たちの自慢は、部員同士のチームワークと仲のよさです。

主な活動は、タイ王国との文化交流、また、個人やグループで決めた課題の解決に向けて調査し、学校祭で発表しています。12月にタイ王国のアニュラチャプラシット校の訪問団が来校した時は、日本文化について紹介しました。これからも、タイ王国と美郷町の架け橋となれるよう、部員一同がんばっていきます。

部長 照井 香歩



お詫びと訂正

みさと議会だより第81号13ページに掲載しました「美郷町議会議員研修会」の記事において誤りがありました。深くお詫びするとともに、次のとおり訂正します。

【記事5行目】

誤 特許庁



正 農林水産省

主な経歴
仙南村議会議員
(平成元年9月～平成16年10月)
美郷町議会議員
(平成16年11月～現在)
美郷町議会議長
(平成17年10月～平成21年9月)



●総務大臣感謝状

◆伊藤 福章 議員(在職35年)

議会の動き

10月1日	議会運営委員会 美郷町議会議員視察研修 大仙市・仙北市・ 美郷町議会議員交流会
11日	
15日	議会広報常任委員会
16日	議会運営委員会(18日・研修)
29日	議会活性化検討会 教育民生常任委員会
31日	総務産業常任委員会
11月11日	臨時会
12日	総務産業常任委員会(14日・研修)
21日	美郷町議会を語る会
26日	議会運営委員会
29日	議会活性化検討会 議会連絡会 議会運営委員会
12月3日	定例会(12日)
5日	総務産業常任委員会
6日	教育民生常任委員会
12日	議会運営委員会
19日	議会広報常任委員会
25日	臨時会
1月14日	議会広報常任委員会 議会運営委員会 議会広報常任委員会
17日	臨時会 議会全員協議会 議会意見交換会

クイズ

問

今回の表紙は

美郷中 部○の中だけお答えください

応募方法

必要事項（氏名、住所、年齢、クイズの答え、アンケート）を記入のうえ、はがき又はメールにてご応募ください。正解者の中から、抽選で5人の方に粗品を差し上げます。（18歳以下優先枠あり）

また、議会へのご意見をお待ちしております。

応募の注意

☆応募専用はがき：85円切手を貼ってください。

☆官製はがき：アンケートも忘れずにご記入ください。

☆応募はお一人様1通とさせていただきます。

あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

議会事務局メールアドレス

gikai@town.misato.akita.jp

締切日

令和7年2月28日（当日消印有効）

クイズの答え

問

今回の表紙は

美郷中 部

議会に関するアンケート

問1 議会を傍聴したことがありますか？

- ① ある ② ない

どちらかに○印をお願いします。

問2 誌面の中で興味がある記事は何ですか？

感想等自由記載欄

みさと議会だより 第81号

正解と当選者



クイズ

美郷町は〇〇周年

▶ **【正解】 20**

クイズ当選者

多数のご応募、議会や議会だよりに対するご意見・ご感想ありがとうございました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

高橋 和美 様	後藤 凌駕 様
熊谷 恵子 様	武藤 肇 様
奥山 忍 様	

●次回定例会は、3月上旬を予定しています。

日程は2月14日発行の「議会だよりお知らせ版」をご覧ください。

キラリ 美郷

VOL.77

～仙南大正琴同好会～



美郷町芸術文化協会の
20周年記念芸能発表会



代表
加藤 富子さん

健康でいられるのも大正琴のおかげです！！

練習日

日時：第2・4火曜日 午前9時～
場所：南ふれあい館
レパートリー：「月の法善寺横丁」
「ゲゲゲの鬼太郎」
「昴～すばる～」他



仙南大正琴同好会の皆さんに
お話をうかがいました。

大正琴は、左手で鍵盤を押さえ、右手に持ったピックで弦を弾いて演奏する琴の一種です。鍵盤の数字は「1(ド)」「2(レ)」「3(ミ)」と音階を表し、その数字が書かれた専用の楽譜を使用しています。

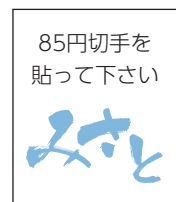
私たちの会（琴城流）は、平成3年に発足しました。

大正琴の音色に魅かれ、当時の婦人会の人たちや生涯学習の一環として始める人もいて、一番多いときは98人を数えました。

若い頃は仕事や家事を終えた夜2時間ほど、一生懸命に練習しました。東北各県の演奏会などに参加したことが良い思い出です。今思うと、よくやってきたなと思います。これも家族の協力と理解のおかげと感謝しています。

令和6年12月の美郷町芸術文化協会20周年記念芸能発表会に出演するために、練習を重ねました。当日、楽しく演奏できたことで、平均年齢85歳の私たちですが、「まだまだやれる！」と思いました。今、新しい曲にも挑戦しています。

興味のある方は、ぜひ見に来てください。



郵便はがき

019-1541

美郷町土崎字上野乙170-10
美郷町議会事務局

議会だより係

ふりがな 氏 名		年齢	歳
住 所	〒		
電話番号			